

**2026 年度派遣
ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ プログラム
派遣生募集要項**

(在 EU 企業インターン募集)

2025 年 6 月

**一般財団法人日欧産業協力センター
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation**

日欧産業協力センター(EUJC)とは？

日欧産業協力センターは、日本と EU 間の産業協力を担う中核的機関として、1987 年 5 月に経済産業省と欧州委員会が日欧間の産業協力を深めていくことが重要であるとの認識の下、「一般財団法人貿易研修センター（現 国際経済連携推進センター）」の支部としてスタートしました。東京とブリュッセルの2か所に事務所を置き、日欧両政府との連携を深めながら、日本に関心のある欧州ビジネスパーソンを対象とした研修、日欧の理工系学生を対象とした企業研修「ヴルカヌス・プログラム」、日・EU ビジネス・ラウンドテーブルや日 EU 政策セミナー等の事業を行っています。

2020 年より「一般財団法人 日欧産業協力センター」として独立し、さらなる日欧の経済関係の発展に貢献しております。参考 URL: <https://ja.eu-japan.eu/ja/about-us>

理工系学生向け企業研修「ヴルカヌス・プログラム」

＜ヴルカヌス(Vulcanus)とは？＞

ラテン語で「鍛冶屋の神」を意味しています。このプログラムは「鉄は熱い内に打て」の格言のとおり、今後の日 EU 経済関係を担う若者を対象に、2001 年 12 月に欧州連合および日本政府により採択された「日 EU 協力のための行動計画」では、ヴルカヌス・プログラムに対し両政府が支援していくことが明言されています。参考 URL: https://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/s_koi/j_eu2001/keikaku.html

ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ

日本人理工系学生を対象に EU 加盟国*で研修を行うプログラムです。渡航に向けたオンラインセッション、語学研修および企業研修（インターンシップ）で構成されています。語学研修では企業研修で使用する言語の習得をめざします。企業研修は、理工系の知識やスキルを活かし実務を経験します。

* EU 加盟国(2025 年 5 月現在): アイルランド、イタリア、エストニア、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、クロアチア、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マルタ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルク

＜プログラム概要＞

1. プログラム実施期間 2026 年 4 月～2027 年 3 月（約 1 年間）
2. 内容

(1) 渡航に向けたオンラインセッションなど	…(2026 年 4 月～5 月を予定)
(2) 語学研修 (EU 加盟国各地)	…3 カ月間 (2026 年 6 月～8 月)
(3) 企業研修 (EU 加盟国各地)	…6 カ月間 (2026 年 9 月～2027 年 3 月)
3. 奨学金ほか

(1) 語学研修中の授業料及びホームステイ(又は寮)の費用は、
日欧産業協力センターが負担
(2) 渡航費用や語学研修中の費用として、日本出発前に 80 万円を支給
(3) 企業研修期間中は企業より、原則 1,000 ユーロ程度/月を支給

※国の補助金で運営しているため、都合により予定が変更されることがあります。ご了承ください。

募集要項

1. 実施目的 日欧の産業協力を推進するため、将来の日欧経済関係を担う若者を育成する。
2. 応募資格 下記条件をすべて満たす方
 ■ 応募時点で、日本の大学において、学部3年生・4年生、大学院生
 または高等専門学校専攻科1年生・2年生に在籍する学生。
 それに加え、2027年3月まで高専/大学/大学院に在籍していること。
 ■ 理工学系分野 「8. 応募にあたって【専門分野について】」を要参照
 ■ 日本国籍保持者
 ■ 以下いずれかの英語能力保持者（応募締切日より2年以内）
 TOEIC650点以上 / IELTS(Speaking)6以上
 TOEFL iBT 70点以上 / TOEFL ITP(団体受験) Lv.1 で525点以上
3. 応募受付期間 2025年9月1日(月) ～ 9月21日(日)必着
4. 募集人数 20名程度
5. 応募方法 以下、当センターweb サイトにてご確認ください。
<https://www.eu-japan.eu/ja/VinE-application-form>
6. 応募書類 ★マークの書類は、上記 web サイトに掲載の応募申込書様式①～③を使用。

★応募申込書 pdf	様式① ※PC を使用し、タイプミス・記入漏れのないよう要確認。要写真挿入。
★小論文 (日本語&英語) pdf	様式② ・日本語は A4、1 枚 ・以下3つの内容をすべて含むこと ① プログラム参加志望理由 ② 大学・大学院・高専での専門分野について ③ 受入企業に対して自分が貢献できること
★教授等の推薦状 (日本語&英語) pdf	様式③ 推薦者(教授、指導教員等)の署名が必要。
英語能力スコア pdf	応募締切日より2年以内のもの
成績証明書 (日本語&英語) pdf	現在の学年の前期分を含む最新の成績証明書 ●該当する方は、以下もあわせて提出してください。 ・大学院生: 学部の成績書(日本語&英語) ・高専から大学/大学院への編入者: 高専の成績書(日本語&英語) ※大学側の都合により期日までに提出できない場合: 「理由書(書式自由)」を作成し、提出が遅れる理由と提出予定日を明記の上、直近(前年度後期等)の成績証明書や他応募書類とともに9/21 までに提出。

6. 選考方法

- ① 一次審査 書類選考
- ② 二次審査 面接（オンラインにて実施予定）
- ③ 三次審査 企業による選考、および日欧産業協力センターによる派遣者認定

上記すべての審査を通過してはじめて渡航決定となります。

7. 選考・派遣スケジュール（予定）

2025 年 9 月 1 日～9 月 21 日	応募書類受付
9 月下旬	一次審査 → 10 月上旬に結果通知
10 月中旬	二次審査 → 10 月下旬に結果通知
10 月下旬	三次審査 → 11 月上旬までに結果通知
渡航決定次第～2026 年 5 月	渡航準備、ビザ取得など
2026 年 3 月	渡航者対象 事前説明会 *1
3 月下旬	2025 年度派遣生 帰国報告会*2
4 月～5 月	プログラム開始 ・オンラインセッションなど *3
6 月～8 月	・欧州にて語学研修
9 月～2027 年 3 月中旬	・欧州にて企業研修
2026 年 11 月	・中間報告会（予定） *4
2027 年 3 月中下旬	・日本にて帰国報告会および修了式 *5

※派遣決定者は、語学研修・企業研修ほか、予定される全ての行事*1～5 への参加が前提です。

※派遣決定者は、期間内に義務付けられた全提出物を滞りなく提出することが求められます。

※派遣決定者は帰国後、OBOG として広報（体験談発表等）への積極的な参加貢献が求められます。

8. 応募にあたって

以下、注意点を十分ご理解の上、ご応募いただけますようお願い致します。

【派遣について】

- ヴルカヌス・イン・ヨーロッパは、原則として 渡航に向けたオンライン講義＋語学研修 3 ヶ月間＋企業研修 6 ヶ月間で構成されたプログラムですが、一部派遣国は、その国の法律により語学研修および企業研修期間が異なる場合があります。
- ビザ・滞在許可・労働許可などの取得が困難等の理由により、派遣決定後に研修国や受入企業の変更を余儀なくされる、あるいは研修国や受入企業の事情により、研修が中止・中断となる場合があることを了承の上、ご応募ください。
- ビザ・滞在許可取得に関わる条件や必要書類は国によって様々です。このため応募学年によって研修可能な国が異なり、限定されます。詳細は一次審査通過者にご案内します。
- 本プログラムは、EU 加盟国で研修を行うことを主旨としています。そのためプログラム参加期間中は特別な事情を除き、本研修以外の目的で EU 圏外に出ることを認めておりません。
- プログラム参加期間中は特別な事情を除き、遅れての参加、一時帰国、途中帰国は認めておりません。
- 本プログラム参加期間中は、語学研修及び企業研修に専念していただくため、本プログラム以外の事業活動や他団体等のプログラム、国際会議等への参加は認めておりません。

【奨学金などについて】

- 奨学金は返済不要です。
ただし、本プログラムは、国の補助金を使用して実施・運営している性質上、派遣決定後に何らかの理由で研修中止となった場合には、奨学金の返還義務が生じます(支出済み経費除く)。
※経費例:ビザ申請や滞在許可申請の費用、返金不可の航空券代等。控除対象となる経費は状況に応じて異なる。
- 企業研修中は企業より原則 1000 ユーロ程度／月が支給されますが、派遣国の最低賃金法や、企業規定等により、支給される額面は派遣企業によって異なります。
- プログラム参加期間中は、原則として他の給付型奨学金との併用はできません。
- 研修に関係のない旅費や物品購入などは、奨学金には含まれないため自己負担です。
- 派遣国の渡航手続きで、十分な滞在資金証明として、奨学金の他に自己資金が必要になります。滞在資金証明として求められる自己資金の目安は、一次審査通過者にご案内します。
- 円安や物価高による生活費への影響、また予測不能の万一の事態に備え、自己資金の準備をお願いしています。

【専門分野について】

- 本プログラムは、毎年同じ企業や部署から研修生受入の応募があるとは限りません。
派遣年度によって、企業の業界、企業が学生に求める専門分野、研修内容は異なります。
- 参考情報として、過去 3 年間に本プログラムに応募した企業が、学生に求める専門分野としてあげたものを以下に示します。
〈最近の実績〉※2026 年度派遣の受入先を保証するものではありません。
機械工学系／電子電気工学系／情報工学系／材料工学／化学／物理／科学／バイオ系
* 2026 年度派遣の応募企業情報は、一次審査通過者にお知らせします。
* 建築土木・農業・海洋などの分野は、近年企業からの応募はありません。

【提出書類について】

- 書類不備の連絡、および提出書類の返却はいたしません。ご了承ください。
- 英語能力テストのスコアシートは、応募締切までに提出できるよう、各種試験実施日程を事前にご確認ください。また、インターネット等で確認できる簡易スコア結果の提出も認めます。
その場合は応募者本人のスコアであることが分かる状態でご提出ください。

【選考・派遣スケジュールについて】

- 選考・派遣スケジュールは状況によって変更になる可能性があります。
- 個人の都合による日時変更に応じることはできません。
- 二次審査は、2025 年 10 月中下旬にオンラインにて行います。日程が決まり次第、当センター web サイト『ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ 選考・派遣スケジュール』に掲載します。

9. 個人情報の取り扱いについて

ご提出頂いた個人情報は適切に管理し当センター事業以外の目的で利用する事はありません。

10. お問い合わせ先

プログラムに関する基本的な事項は、当センター web サイトに掲載しています。

『よくある質問(FAQ)』をご確認頂いた上で、お問い合わせください。

<https://www.eu-japan.eu/ja/training-young-scientists-engineers-vine>

一般財団法人 日欧産業協力センター

ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ担当

E-mail: VinE@eu-japan.or.jp Tel: 03-6408-0281

ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ 2023-2025 年度 派遣者・研修内容一覧

* 学校名は応募時の表記

2023 年度			
応募時所属	研修先企業	企業研修地	研修内容
香川大学 大学院	Altechna R&D	リトアニア	研究アシスタントとして光導波路の光損失測定評価、新たな測定方法の提案や設計
電気通信大学 大学院	Computomics	ドイツ	動植物の遺伝子情報を視覚化し、比較・解析するためのソフトウェアの開発
大阪大学	PEC nv	ベルギー	機械の修理、修理用部品の整理・配送手配、ソフトウェア翻訳、商談や展示会の通訳
横浜国立大学	AT&S	オーストリア	技術初期開発に関するトライアルマネジメント・技術の可用性やデザインの議論及び技術解説
豊田工業大学	AT&S	オーストリア	FEM→最適化モデル/異常検知 HMM,SSM/CO2 低減/ばらつき原因追及+SQL
豊橋技術科学 大学大学院	IDIADA AUTOMOTIVE TECHNOLOGY	スペイン	自動車をテストして得られた様々なデータを専用のソフトウェアで分析する際の、分析条件・設定を自動化または使いやすくするシステムを開発
北海道大学	IDIADA AUTOMOTIVE TECHNOLOGY	スペイン	テストデータに対して、太陽や天気、道路情報といったデータのデータエンリッチメント
神戸大学	IDIADA AUTOMOTIVE TECHNOLOGY	スペイン	CAE のチュートリアル、自転車と自動車の衝突シミュレーションと身体ダメージの計算
東京工業大学	Trimek S.A.	スペイン	自動車業界向けの最適スマート計測ソリューション
山梨大学	Innolact S.L.	スペイン	代替素材を使用した代替クリームチーズの研究開発
京都大学大学 院	Nextnano GmbH	ドイツ	半導体ナノデバイスのシミュレーション・ソフトウェア用のチュートリアル作成
東京大学	Eckert & Ziegler AG	ドイツ	日本での医薬品承認申請を目指した企業内の調整・新規事業に関する文献調査
北海道大学	Hovione	ポルトガル	皮下注射用新規製剤のスクリーニング、タンパク質データベースの構築
大阪公立大学 大学院	Glatfelter Gemsbach GmbH	ドイツ	生分解性かつ生物由来のポリマーを用いた食品包装材の開発
東京大学 大学院	Airbus	ドイツ	GaiaX(宇宙産業でのデータシェアリングシステム)に搭載するデジタルサービスの開発。主に、時系列データの解析・異常検知を行う際に必要となる ML work を最大限自動化
名古屋大学 大学院	ARRK Engineering GmbH	ドイツ	自動車の車内空間に対する熱解析ソフトウェアの改良と関連するデータ処理
東京農工 大学大学院	ARRK Engineering GmbH	ドイツ	パッシブセーフティ、材料試験とシミュレーションによる材料の機械的特性のモデル化と材料データベース構築
京都大学 大学院	Billerud	スウェーデン	紙のリサイクル性能のテストと紙のコーティング材料のレオロジーについての研究
東京工業大学 大学院	Astellas Ireland Co. Ltd	アイルランド	生産プロジェクトのサポート、製造ラインの改善
北海道大学	U-SERIES SRL	イタリア	放射線防護用シールド、及びラドン測定機器構成用チャンバーの設計
東北大学 大学院	Vector Renewables España, S.L.	スペイン	GIS ソフトを使用した再エネプラント建設予定地の適性評価及び業務自動化を実施
金沢工業大学 大学院	Hitachi Energy Poland Sp.z o.o.	ポーランド	量子暗号通信を仮想環境で構築し、パフォーマンスを分析

2024 年度			
応募時所属	研修先企業	企業研修地	研修内容
大阪公立大学 大学院	PEC	ベルギー	サービスエンジニアとして、顧客の問い合わせ対応/展示会や商談での通訳/製品の修理・メンテナンス・校正作業
東北大学	nextnano GmbH	ドイツ	自社半導体デバイスのシミュレーション及びバリデーション
金沢大学 大学院	Advanced Tools and Moulds Srl	イタリア	熱可塑性樹脂を用いた、航空機主翼の設計、製造
筑波大学 大学院	Protom Group s.p.a.	イタリア	人々が生活する場所(例:教育・学習、高齢者支援)で使用するためのソーシャルロボットの開発。
早稲田大学	AT&S	オーストリア	Modularization : 効率的な製造や革新的な生産のための新技術の開発。技術的、化学的、測定実験。Simulation : 材料の特性評価や試験、ソフトウェアを用いた解析。
北海道大学	AT&S	オーストリア	PCB 基盤の製造ラインで使用される Web システムの構築、および高周波電磁界シミュレーション等に取り組む。
電気通信大学 大学院	speedikon Facility Management AG	ドイツ	企業プラットフォームの構成データ群を sql として転送するプログラム開発
東京大学 大学院	RATTUNDE AG	ドイツ	工作機械のソフトウェア開発を担当。
東京工業大学 大学院	LIFE FOR TYRES, S.L.	スペイン	使用済みタイヤを利用した廃棄物処理により循環型経済を目指す企業にて、二次原料の特性や品質の研究に携わる
東京工業大学 大学院	LIFE FOR TYRES, S.L.	スペイン	使用済みタイヤを利用した廃棄物処理により循環型経済を目指す企業にて、二次原料の特性や品質の研究に携わる
金沢大学	IDIADA Automotive Technology S.A.	スペイン	自動車の排ガス・燃費・エネルギー消費の車両実験、データ分析およびレポート作成
東京大学 大学院	IDIADA Automotive Technology S.A.	スペイン	ホモロゲーションエンジニア。EU 市場向け自動運転技術の認証業務（試験監査、技術書類のレビュー、レポート執筆）
九州大学 大学院	Computomics Machine learning- based data analysis	ドイツ	植物遺伝子情報から収穫量を予測する AI 開発と、遺伝子の整列を行うアルゴリズム開発
東北大学 大学院	Astellas Ireland Co. LTD	アイルランド	生産管理部門での製薬プロセス効率化のデータ分析、報告。製造現場におけるリスクアセスメント
京都大学	U-SERIES SRL	イタリア	放射化学チームにて、線源の化学的な処理、ISO 準拠の分析ルーチンの設計、統計処理

2025 年度			
応募時所属	研修先企業	企業研修地	研修内容
豊田工業大学	PEC	ベルギー	先進的な試験・製造装置の製品開発、アフターセールスチームのサポート、フィールド・サービス、設置、トレーニング、試運転、およびカスタマーサポート。
電気通信大学	IDIADA Automotive Technology S.A.	スペイン	e-Powertrain 部門： E モーター、バッテリー、高電圧部品試験、熱システム試験、電気自動車ベンチマーク、充電システム開発に関わるプロジェクトにおいて、電子モーター制御の効率を最適化、耐久性試験に関わるテスト。
京都大学大学院	IDIADA Automotive Technology S.A.	スペイン	自律走行車の開発に携わり、実車とシミュレーション環境に統合されるソフトウェアモジュールの開発。コネクテッドカーと自動運転車のモジュールを開発するチームの一員として検証・妥当性確認。
東京科学大学大学院	Hitachi Energy Poland Sp. z o.o.	ポーランド	電力システムの革新的なデジタルソリューションを開発する研究開発チームにて サロゲートモデル、自動設計、GenAI、電力系統運用の機械学習支援など
早稲田大学大学院	JVV Grup S.L	スペイン	R&D にて、照明エレクトロニクス、工業製品、静電容量式キーパッドのようなユーザー・インターフェース製品など様々なプロジェクトに関わる。
名古屋工業大学大学院	AT&S	オーストリア	新しい技術、プロセス、製品の研究と開発。PCB を使用した電氣的、信頼性、物理的および化学的テストに使用されるハイテク研究所での作業。誘電体材料、化学物質、または取り扱い技術の評価。文献調査や特許分析。
大阪大学	AT&S	オーストリア	Application Engineering 部にて、グローバルな技術ロードマップシステムと運用の実行をサポート。グローバル OEM/セミコン/TIER1 顧客ロードマップのデータ収集、技術ニーズやトレンドに関する膨大な情報を処理するための最適なマッチングシステムの確立。
神戸大学大学院	Hitachi Energy Poland Sp. z o.o.	ポーランド	エンジニアやデータサイエンティストと協力し、高度なアルゴリズムの開発と実装、スマートグリッド技術プロジェクト、大規模データセットの分析、再生可能エネルギー源の統合の支援、エネルギー配電ネットワークの強化を目的とした研究
早稲田大学	speedikon Facility Management AG	ドイツ	ソフトウェアの開発。不動産ポートフォリオと技術施設をデジタル化。
東京大学大学院	nextnano GmbH	ドイツ	光電子半導体ナノデバイスをシミュレートする最先端の物理学ソフトウェアを使用し、ナノ構造の量子力学的特性をシミュレート
上智大学大学院	FibreCoat GmbH	ドイツ	コーティング技術の実践的・理論的開発をサポート。繊維紡績および繊維技術のトレーニング。繊維を金属やポリマーでコーティングするための研究、プロセス、装置開発サポート。
立命館大学大学院	Cilcare	フランス	データサイエンス部門にて、臨床データを解析のソフトウェアおよびツール開発、ならびに患者リクルートを加速するためのパイオマーの定義。特定のソフトウェアを開発するための学際的チームによるプロジェクト管理。
筑波大学	PATH MEDICAL GmbH	ドイツ	聴覚機器の研究開発プロジェクト:ハードウェア,ソフトウェア/ファームウェアの開発。製品の検証・妥当性確認テストのためのテストケースの確立と実行。日本市場向け製品のローカライズ、日本の顧客対応オペレーションや品質管理サポート
早稲田大学大学院	Midas Pharma GmbH	ドイツ	マーケティング&セールス国際事業部: 国内ジェネリック医薬品企業への原薬ポートフォリオの提案・マーケティング・販売。プロジェクト支援と管理,市場調査の実施と評価,国際見本市のフォローアップ。
兵庫県立大学大学院	Airbus	ドイツ	宇宙システム事業の変革とデジタル化。デジタルサービス機能に向けた価値提案を分析。最先端のクラウド技術や人工知能技術、GaiaX(宇宙産業でのデータシェアリングシステム)などのデータエコシステムフレームワークを適用するなど。
京都大学	AT&S	オーストリア	R&Dにて、新しい技術、プロセス、製品の研究と開発。PCB を使用した電氣的、信頼性、物理的および化学的テストに使用されるハイテク研究所での作業。誘電体材料、化学物質、または取り扱い技術の評価。文献調査や特許分析。

皆さまのご応募を、お待ちしております。

以上